



ロバート Hレビ氏による製品批評／ポジティブ フィードバック 35号(インターネットマガジン)

mhi ミュージカル・ハート・インスツルメンツ、エヴィデンス MM01A/GB



mhi
musical
heart
instruments

私の気に入っている、現在購入できるミニスピーカーはAmphionのLonです。小さなスピーカーがむきだしに成っており、値段は少し高く1400ドルです。私のレファレンス小型スピーカーはJMラボのCobaltですが、すでに生産中止です。ここで突如出現した小型スピーカーが、アメリカでデザインされ、中国で生産されているエヴィデンスです。製造・設計は、カリフォルニア州 コロナ市にあるマイクロホーム・インストレーション・インクのなかの mhi(ミュージカル・ハート・インスツルメンツ)です。このエヴィデンスは、同じくカリフォルニア州のモンロビアにあるBrooks Berdan LTDで購入できます。mhiは現在1モデルを発売しており、これがそのモデルです。黒光沢仕上げであれば、どんな色でも貴方のお好み次第です。

それはLonと同じように、中域のトランスピアレンシーを持っており、ちょっと小さめで、とても美しい、黒光沢仕上げです。ハイテクデザインされたエヴィデンスは、音楽好きのオーディオファイルや、ニアフィールドで聴く人にとって、1000ドル以下のどのモデルよりも、中域の解像度と、高域の空気感をもっています。エヴィデンスは私のStaxヘッドホーンのように、繊細な表現力を持ち、音楽の全てをあらわにしてくれます。エヴィデンスは間隔を十分取り、野外ライブのような再現もできますし、間隔を狭め iPod や、コンピューターの音楽をニアフィールドで楽しむことができます。サブウーファーを加えて全帯域で楽しむこともできますし、またサブウーファー無しでも十分楽しめます。貴方は、超高解像度と、美しい外観と、小型のモデルを低価格で探しているのではありませんか。このエヴィデンスがそんな貴方へのチケットです。

たった約6インチ(15センチ)幅、9.5インチ(24センチ)高さ、8インチ(20センチ)奥行き、でありながら、エヴィデンスは、私の8ワット、Cary社製 300Bシングルアンプでも、ものすごく大きな音を出します。スピーカーの能率は控え目に言っても、90dBです。そしてインピーダンスは4オームです。またパイワイヤー接続をすべきでしょう。(取り付けられているジャンパー金具は使わない方がいい)

では、このCOOLなスピーカーの何が、そんなに、新しいのでしょうか? 強いモガミ紙コーンを使った4.5インチ、パイオニア製、ミッドレンジ/ウーファーは、フルレンジとして働いています。このユニットのエッジはフォーム製エッジよりも、はるかに長持ちする布製で作られ、60Hzから10kHzを再生します。このシステムのネットワークは、他とは異なる2インチ長さのリボン スーパー ツィーターだけをコントロールしています。これもまたパイオニア製です。このユニットのクロスオーバーは約10kHzで100kHz以上までのびています。どちらのドライバーユニットもまったく振動しないように、頑強に良く作られたキャビネットに取り付けられ、2つのドライバーユニットの間には溝加工がされており振動を遮断することで、それぞれのパフォーマンスをより確実なものとしています。このシステムでは、ほとんどハンダ付けはおこなわれておらず、それぞれのネットワーク部品は音に対する色付けを排除するために、専門的な圧着端子で接続されています。グリルクロスは無く、ミッドレンジ/ウーファーは見た目の良い黒のメタルメッシュで直接覆われています。そしてリボンツィーターのリボンは、ダメージを受けないように、うまく内側に設けられています。キャビネット裏側には、小口径のリアポートが低域を増大させるために設けられています。とても、すばらしい設計です。

私は、エヴィデンスと、最近レビューしたすばらしい新製品ハーモニック テクノロジー社 リファレンス9+ パイワイヤースピーカーケーブルを用い、Cary社300Bシングルアンプを接続しました。また、EAR社834Lラインアンプと、ModWright社が改造したソニー製999CD/SACDプレーヤーを使いました。インターコネクトケーブルはハーモニック テクノロジー社とサイバーライト社インターコネクトを用い、バッテリーパックタイプ4も使いました。スピーカーは約6フィート離し、内向きにするのではなく、互いに平行に置き、ツィーターを耳の高さと同じにして設置しました。

仕様

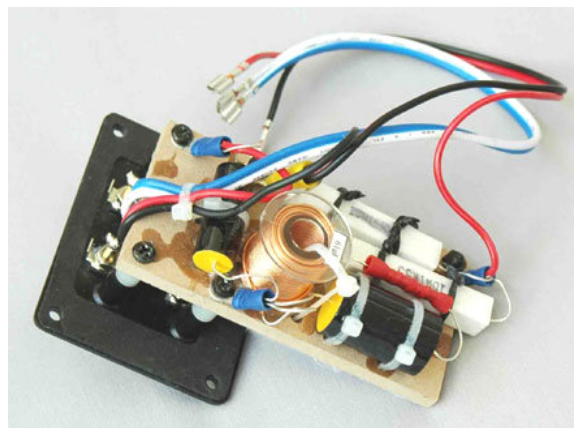
ツィーター:ピュア アルミリボン
周波数帯域: 65-120kHz
クロスオーバー周波数: 10kHz

ウーファー: 紙コーン 4.5インチ
感度: 90dB/2.83V/m
必要慣らし期間: 50時間以上

インピーダンス: 4オーム
最大許容入力: 75W
重量 4.0Kg



ロバート Hレヴィ氏による製品批評／ポジティブ フィードバック 35号(インターネットマガジン)
mhi ミュージカル・ハート・インスツルメンツ、エヴィデンス MM01A/GB



第一印象は全ての音が、どこからでてるのかと思ってしまいました。このシステムは見た目は小さいですが、音が大きく、オープンで、恐ろしいほど詳細です！中域は盛り上がり、素晴らしく繊細で高域まで伸びています。音は力強さと、活気があり、サウンドステージは高くそびえる Mount Wilson のようです。ボーカル再生はエヴィデンスの得意とするところです。設計者のエド氏によると、ミッドレンジ帯域にクロスオーバーを設けないことが、色づけのないディテールを創り出しているということです。彼の言うとおりで、ボーカルにおいてはまったく驚かされます。まさしくそこに存在するようで、まるで息の気配までが、分ってしまうようです。

このほぼパーフェクトなポイントソース スピーカーのイメージングは、言うまでもなく明確にフォーカスしています。歪やドライバーの限界(すくなくとも、私の小出力アンプでは)を認識させることは無く、すばやくクリーンに、わたしのリファレンスCobalts よりも、よりフォーカスします。簡単に言うと、エヴィデンスは中、高域でのトップクラスのフォーカスと、驚異的な解像度をもっています。当然このような小さなドライバーでは、下まで伸びた重低音や、ミッドベースでのパワーや重みに欠けるところがあります。もちろん私は、これらのすべての試聴をサブウーファー無しで行いますが、将来的に貴方はサブウーファーが欲しくなると感じるかもしれませんし、そうする価値はあります。約50-60Hzでクロスさせることで、どのようなサブウーファーでもうまいと思います。

エヴィデンスは、十分すぎる高域エネルギーをもっており、高域が不十分な他の多くのモデルのように、あなたの耳に向ける必要はないと思います。エヴィデンスを互いに平行に置くことで、音楽はすばらしい広がりを見せ、ちょうどいい感じに聴こえます。約1フィート(30センチ)後ろの壁から離すことで、最良の低域が得られますし、それ以上離すと深みが増します。もしあなたがこれを買えば、二度と耳栓で聴くことが嫌になってしまうでしょう。この並外れた解像度により、小さな音で聴いても十分満足できると実感しました。クラシック音楽を正しく再生するためには俊敏さが要求されますが、エヴィデンスは驚くほど私の好みに近いです。ジャズやロックではボリュームを上げたくらいだと思いますが、エヴィデンスの音もボリュームに追従してくれます。このサイズのスピーカーで、ほぼ限界を感じさせない高域性能があるのは楽しいものですし、ホルンやシンバルや又そのような楽器のハーモニーをととても良く表現します。さらにボーカルは最高の甘美さで、女性ヴォーカルにおいては見事に実在します。

この新製品、低価格、超高解像度のスピーカーは、わたしの注目を引きつけました。mhiのエヴィデンスは、とても小型でエレガントです。わずかなワットで、大きな音楽を生み出します。あなたは、私の静電式ヘッドホンのような解像度を持ち、他とは異なる最先端の考え方で設計されたその性能を、まさに目の前で見て聴くことができるでしょう。エヴィデンスは、たぶん私が聴いた中で、現在購入できるベストの小型ポイントソーススピーカーです。ただ一点、低域が不十分なのが弱点ですが、他の小型スピーカーは中高域を犠牲にすることで、低域を無理に作り出しています。また他のものは、安くありふれたドライバーとキャビネット構造で重量も軽く、買いやすい値段になっています。エヴィデンスはそうではありません。エヴィデンスは想像以上の音で、とても美しい外観で、よく作られています。そしてさらに高価ではありません。 **おおいに推薦します！**

POSITIVE FEEDBACK : アメリカで有名な、オーディオに関するインターネットマガジン

Robert H. Levi (ロバート Hレヴィ) : CNNのテッドターナーと仕事をされ放送業界に多くに実績を残されています。現在はホジティブフィードバックで積極的に製品批評をされる傍ら、LA・オレンジカントリー・オーディオ協会の会長をされています。

Los Angeles and Orange County Audio Society : アメリカ最大のオーディオ愛好家の団体です。 www.laocas.com

MHI Musical Heart Instruments / Micro Home Installation, Inc. / Ed Kojima, President

1235 Countess Drive Corona, CA 92882 / PHONE: 951. 898. 1121 / email address: m_h_i@msn.com

エヴィデンスの製品批評オリジナル英文アドレスは : http://www.positive-feedback.com/Issue35/mhi_evidence.htm